

健 第 2 8 6 5 号
平成30年(2018年)8月17日

国立大学法人 佐賀大学長 様

佐賀県健康福祉部健康増進課長
(公 印 省 略)

風しんの届出数の増加に伴う注意喚起について(協力依頼)

本県の感染症対策の推進につきましては、日頃から格別の御配慮をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、現在、例年と比較し、関東地方で風しんの届出数が大幅に増加しており、この時期は、多くの人の往来が見込まれることから、今後、全国的に感染が拡大する可能性があるとして、別添のとおり、平成30年8月14日付け健感発0814第3号で厚生労働省健康局結核感染症課長から通知がありました。
については、下記内容について、貴学の職員及び学生等に注意喚起いただきますようお願いいたします。

記

- 1 特に30代から50代の男性のうち、明らかに風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認ができている者を除いた者に対して、任意で風しんの予防接種を受けることについて、検討いただくよう、周知をお願いします。
- 2 妊婦への感染を防止するため、特に
妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
10代後半から40代の女性(特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い者)
のうち、明らかに風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認ができている者を除いた者に対して、任意で風しんの予防接種を受けることについて、検討いただくよう、周知をお願いします。

妊娠をしている女性及び妊娠をしている可能性がある女性は、風しんワクチンを受けることができません。また、風しんワクチン接種後は少なくとも2カ月間の避妊が必要となりますので、ご注意ください。

佐賀県健康福祉部健康増進課
感染症対策担当 福田
TEL : 0952 - 25 - 7075
FAX : 0952 - 25 - 7268
E-mail : kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

各 都道府県
保健所設置市
特別区
衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長
(公 印 省 略)

風しんの届出数の増加に伴う注意喚起について（協力依頼）

現在、例年と比較し、関東地方で風しんの届出数が大幅に増加しております。この時期は、多くの人々の往来が見込まれることから、今後、全国的に感染が拡大する可能性があります。具体的には、第 30 週から第 31 週まで（7 月 23 日から 8 月 5 日まで）に 38 例の風しんの届け出があり、多くは 30 代から 50 代の男性が占めていました。30 代から 50 代の男性においては、風しんの抗体価が低い方が 2 割程度存在していることが分かっています。

貴職におかれては、下記の点に留意の上、特に妊婦を守る観点から、診療に関わる医療関係者、これまで風しんにかかっていない者、風しんの予防接種を受けていない者及び妊娠を希望する女性等への注意喚起等、風しんに対する一層の対策の実施をお願いします。

記

- 1 発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、風しんにかかっている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの罹患歴及び予防接種歴を確認するなど、風しんを意識した診療を行うよう周知すること。
- 2 特に 30 代から 50 代の男性のうち、明らかに風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認ができていた者を除いた者に対して、任意で風しんの予防接種を受けることについて、検討いただくよう、周知を図ること。
- 3 妊婦への感染を防止するため、特に
 - ① 妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
 - ② 10 代後半から 40 代の女性（特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い者）のうち、明らかに風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認ができていた者を除いた者に対して、任意で風しんの予防接種を受けることについて、検討いただくよう、周知を図ること。

参考 1：感染症発生動向調査（IDWR）（平成 30 年 8 月 8 日時点）（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/2018pdf/rube18-31.pdf>

参考 2：風しんとは（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/